

～念願の水道施設が完成～

「ハチ高原簡易水道」1月から給水開始

水道施設が未整備だったハチ高原において、安全で安定した飲料水の供給を行うために建設を進めていたハチ高原簡易水道施設が昨年12月に完成しました。

同施設整備事業は、平成17年3月31日に県知事の認可を受け、同年11月から工事を開始。計画給水人口は、多くの観光客が訪れることを考慮し、一般176人、民宿宿泊者620人、日帰り観光客10,100人としています。

浄水方法は、10万分の1^{ミリ}の穴が開いている特殊な膜に通すことで、塩素消毒では殺菌できない微生物・クリプトスポリジウムを取り除く「膜ろ過方式」を採



多くの観光客が訪れるハチ高原



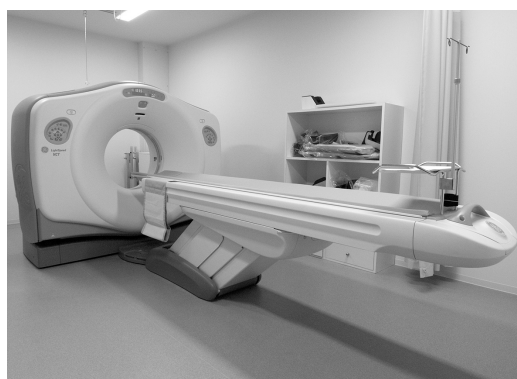
膜ろ過浄水施設

用し、1日の計画最大給水量は500^{立方メートル}。測量・設計費などを含めた総事業費は約8億7千万円です。

同施設で処理された飲料水は、ハチ高原内の民宿など53カ所に供給し、年間を通して多くの観光客でにぎわうハチ高原において、一層の衛生環境の向上に寄与します。なお、ハチ高原簡易水道が完成したことにより、養父市の水道普及率は99.5%となりました。

～公立八鹿病院からのお知らせ～

但馬初となる「最新型64列高速CT装置」を導入しました



八鹿病院では、施設の改築に伴い、最新のCT装置を導入しました。

CT装置とは、X線を使用して人体を輪切りにした画像を作る装置とのイメージがあると思います。新しい装置には、64列のデータ検出器を搭載していて、1回転（0.4秒）のX線の照射により64枚の画像を得ることができます。高速でデータを取ることができるので、胸部から腹部までの撮影が4.1秒で撮影でき、あらゆる断面の画像が作成可能です。

また、0.625^{ミリ}で断面の撮影ができるため、これまでより小さな病変も見つけ出すことが可能となります。そして、造影剤

という薬を使用することで、血管だけの画像（写真）を作成することも可能です。さらには、常に動きのある心臓の血管をも抽出でき、今まで血管内にカテーテルという細い管を挿入して行っていた検査の一部をこの装置で行うことができるようになり、従来のCTに比べて患者さんの身体的負担が軽減されます。

このCT装置により、多くの情報を得ることが可能となるため、病気の早期発見から早期治療へつながっていくことが期待されます。

■お問い合わせ／公立八鹿病院 画像診断科（☎662-5555）

